

事例
19

あの企業はこう使っている!

事例に学ぶIT・IoT導入

株式会社
フェアリー・テイル



結婚式をはじめとする各種パーティーをプロデュースするおもてなし企業。香川を代表する名所での結婚式「ふるさと讃岐ウェディング」も全国で販売しています。

株式会社フェアリー・テイル

〒760-0052 香川県高松市瓦町2丁目2-8
TEL 087-863-6685
HP <https://www.fairytale.co.jp>
<https://ritsuringarden.com>

コトモノコロをプロデュース
プロデューサー 藤田徳子 オフィス

なんとなく「便利になりそう」とは思うものの「うちの会社で、どう使ったらいいかイメージが湧かない...」。
そんな皆さま必見のコラムです。
高松のIT・IoT先進企業（リーディングカンパニー）が、IT・IoTをどう活用しているかを毎月連載で紹介いたします。
第19弾は、株式会社フェアリー・テイル。代表取締役の藤田 徳子さんにお話を伺いました。

多様な働き方と高品質サービスの両立を
IoT導入で可能に

安心して任せられることが
鍵のプロデュース業界

結婚式やパーティーなど、ハレの場のプロデュースには、「安心して任せられる」というお客さまからの信頼が何よりも重要。そして、不信感を与えない抜け漏れのない顧客対応は、円滑なコミュニケーションの上で成り立ちます。例えば、結婚式では、ケーキや衣装、式場などさまざまに打ち合わせをお客さまと何度も繰り返し返します。そんな中で、口頭でのコミュニケーションは担当者による情報の属人化をまねき、サービスの質を落とすことにもなりかねません。

大量の共有メールで
お客さまのメールを見逃す

10年以上前から働き方改革に取り組んでいるフェアリー・テイルでは、仕事の属人化を防ぎ、多様な働き方を実現させるため、お客さまとのやりとりは全てメールを使用。誰もが対応できるように、CCをつけてチーム全員で共有することをルール化していました。「複数の

IoT導入で可能に

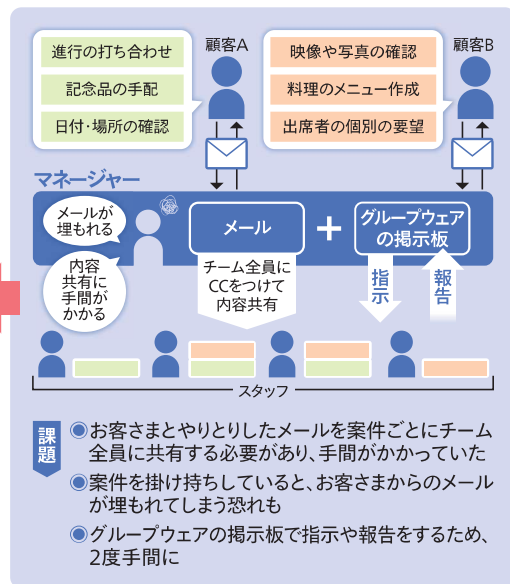
案件を掛け持っている、大量の共有メールで大切なお客さまからのメールが埋もれてしまう恐れが、また、業務指示や報告にはグループウェアを別に使用しており、入力に手間がかかっていました。柔軟な働き方のための取り組みが、かつて、スタッフのストレスを生んでしまっていたのではないかと感じていました」と藤田社長。

グループメーラー導入で
手間減とサービスの質UP

そこで、同社は2022年にクラウド型グループメーラーを導入しました。各スタッフが受信したメールの内容や対応状況を全員が画面上で共有でき、自分の担当業務に関する情報が一目瞭然に。コメント機能を活用し業務指示や報告も可能になったことで、グループウェアへ入力する手間が減り、スムーズな情報共有が実現。サービスの質の向上にもつながっています。IoT導入は業務全般のコミュニケーションを円滑にしています。

図解

グループメーラーで情報を一元管理。
手間削減で業務効率UP



社長の声

当社は経験を積んだスタッフが子育てや結婚を理由にあきらめず、仕事を続けられる環境作りを入れています。今回のIoT導入も、場所や端末を選ばず使用できる、自由度の高いツールを選びました。今後も、柔軟な考えを常に持ち、時代に合わせた働き方を考えていきたいです。

